## 推薦調書 (実装部門)

	1年/	局 <b></b> 前青(关表前广	1/	
表彰区分	町·村		推薦都道府県	福井県
地方公共団体名	永平寺町			
取組名称	自動運転「ZEN drive」による移動サービスの省人化			
連携自治体、企 業、団体等	産業技術総合研究所、ヤマハ発動機、三菱電機、ソリトンシステムズ、 まちづくり株式会社ZENコネクト			
	(種類)	1	(左記が①の場合 の分野)	交通
デジタルを活用 した取組の概 のでジタルの 用した取組の 体概要と解 る個別課題 体的内容)	【デジタルを活用した取組の全体概要】 ○ 自動運転技術の導入により移動サービスに係る省人化を進め、運用コストの低減による持続可能な地域交通を設計する。 【実施に至る経緯・動機】 ○ 2016 年度の経産省・国交省による自動運転の実証地域公募の採択を受け、2020 年度まで5年間の実証を行う。2020 年度に、国内初となる自動運転レベル3、車内無人による移動サービスの実用化を達成。 【解決した課題の具体的内容】 ○ 1人の遠隔監視者が最大3台の自動運転車両を同時運用することで、ドライバ人件費の抑制が見られた。 ○ 自動運転技術が国内に定着していくに先立ち、当町での取組みが制度的課題の整理、社会的受容性の調査について一定の役割を果たした。			
デジタルを活用 した取組による 成果(成果がわ かるデータ・数 値)	【取組のアウトプット】 ○ 1日当たり利用者数 2018年度24.6人、2019年度63.9人、2020年度14.2人 2021年度9.9人 ※2020年度12月から実用化して有償運行。 ※2021年度はコロナ感染症の影響あり。  【取組のアウトカム】 ○ ドライバの省人化(車両3台の同時運行時) 2020年度以前:遠隔監視者(運行管理者)1人、ドライバ3人 2021年度から:遠隔監視者(操作者)1人、ドライバ0人 >自動運転レベル3の達成により、運行に係る人件費を4分の1に抑制。			

本取組の特徴的	<ul> <li>○ 本取組みで採用している自動運転技術は、電磁誘導線方式である。最先端の技術ではないが環境適応性や堅牢性に優れ、コスト面も含めて社会実装を進めていく上で有為な技術である。</li> <li>○ 遠隔監視により車内のドライバレスを達成している。これにより、1人の監視者が複数台の自動運転車両を運用することが可能となった。</li> </ul>			
な点やデジタル の活用において 工夫した点	<ul> <li>○ 運行ルートは、自転車・歩行者との共同空間を走行する公道であり、センサーによる人の検知およびすれ違い時の車両制御をシステムにより行っている。</li> <li>○ 天候、路面状況、緊急車両の接近等、自動運転の運行条件をシステムが判断し、自動的に運行を中止できるようにしている。</li> </ul>			
今後の展望	<ul> <li>○ 政府目標である自動運転レベル4の社会実装に向けて取組む。</li> <li>○ 自動運転レベル4に適応した車両がもたらす新たなサービスについて検討し、移動に付加価値を付けることで新しいビジネスモデルの構築を目指す。</li> <li>○ 現行ルートの他に、交差部を通行するルートについても自動運転のドライバレスに向けた実証を行う。</li> </ul>			

## 「自動運転「ZEN drive」による移動サービスの省人化」概要図







